

2017年12月17日(日)朝10:10
12月第3回共同主日礼拝式説教

主の待降節第3、讃美練習等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：先駆者

聖書：マルコ7章1～13節〈口語訳〉

新約聖書51頁

マルコ1章1～8節〈新共同訳〉

新約聖書61頁

マルコ1章1～8節

〈新改訳第3版〉

新約聖書64頁

マルコ1章1～8節

〈塚本訳〉

新約聖書7～8頁

(全節を朗読)

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ **神の子イエス様**は、神に**生きる権威**^{エクスーシア}を**神のしもべ**として示し、**神の国の福音生活**を啓示されました。
 - ◇ **神の子イエス様**は、子供たちを祝福し、「**神の国の福音を受け入れる者でなければ、決してそこ(神の国)に入ることはできない**」(マルコ 10:16)と、語っておられました。
 - ◇ **神の子イエス様**は、「**神の国の福音**」の基本的使信である「**神の子イエス様の来臨**」を語っておられますが、これを「**神の子イエス様**」を信じる者の希望として示しておられる。
 - ◇ **マルコ1:1~8**においては、**罪からの救い主 イエス・キリスト様**の**先駆者**、**バプテスマのヨハネ**の**働き**を**神の国の福音の告知**とともに、**マルコ**は語っています。
- ⇒先週は、「**言伝え**^{パラドシス}」に固執する律法学者たちの「**神の国の福音宣教**」の妨げが扱われ、その前は、**神の子イエス様の来臨の希望**を見ました。
- ⇒今日の「**先駆け**」が、**神の救いの福音**を人々が受け入れるように**道筋**を示すものです。

本論；

◇本日は、マルコの福音書1章1～8節からの使信に思い・心ヌースをとめます。

◆マルコ1章1～8節；洗礼者ヨハネは、水のバプテスマ(洗礼)を授け、後に来られるお方・神の子イエス様による「聖霊のバプテスマ(洗礼)」の「先駆者」とされました。

◇1:1～8節；塚本訳；◆洗礼者の先駆け

「1 イエス・キリストの福音はこうして始まった。

2 預言書(マラキと)イザヤに、『(神は言われる、)「見よ、わたしは使をやって、あなたの先駆けをさせ、』あなたの『道を準備させる』』

3 『荒野に叫ぶ者の声はひびく、「主の道を用意し、』その『道筋をまっすぐにせよ』』と書いてあるとおりに、

4 洗礼者ヨハネが(主救世主の道を準備するため、ユダヤの)荒野にあらわれて、罪を赦されるための悔改めの洗礼を説いた。

5 ユダヤ全国の人々、ことにエルサレムの人が皆ヨハネの所にでて来て、自分の罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。

- 6 ヨハネは駱駝の毛(の外套)を着、腰のまわりに皮の腰衣をつけ、蝗と野蜜とを食べていた。
- 7 彼は説いて言った、「わたしよりも力のある方が、わたしのあとから来られる。わたしは、かがんでその方の靴の紐をとく値打もない者である。
- 8 わたしは水で洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる。」と、マルコは、洗礼者ヨハネの先駆けを語っています。
- ◇ 1～4節；「洗礼者ヨハネ」が、「預言書(マラキと)イザヤに、『(神は言われる、)』との預言の言に、「見よ、わたしは使をやって、あなたの先駆けをさせ、』あなたの『道を準備させる』』」、「『荒野に叫ぶ者の声はひびく、「主の道を用意し、』その『道筋をまっすぐにせよ』』と書いてあるとおりに」、「(主救世主の道を準備するため、ユダヤの)荒野にあらわれて、罪を赦されるための悔改めの洗礼を説いた」、と、洗礼者ヨハネが預言の通り、「罪を赦されるための悔改めの洗礼を説いた」と、マルコは先ず告知しました。
- ⇒ 洗礼者・先駆者ヨハネの目的は、明瞭です。

⇒「**預言者イザヤのことば**」は、3節で「**呼ばれる者の声**がする、「**荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ。**」(イザヤ40:3)、マルコ1:2は、マラキ3:1前半のことばで、「**見よ、わたしはわが使者をつかわす。彼はわたしの前に道を備える。**」です。

⇒①**マラキ3:1前半**は、新しい契約者の来臨を告げ、②**預言者イザヤ**は、新しい契約者が、「**罪の赦しを与える者である**」ことを示すため、「**罪の赦しに与る道備え**」をせよとの告知。

◇**5節** ;「**罪の赦しのための聖霊のバプテスマ**」を授けて下さる「**罪からの救い主**」への悔改めのため、「**先駆者**」として、「**水のバプテスマ(洗礼)**」を「**ヨルダン川で**」、「**ユダヤ全国の人々、ことにエルサレムの人**」に授けました。

◇**6節** は、人々の心が荒野のようであることを象徴するかのようには、駱駝の毛織を着、腰に皮の帯を結び、蝗と野蜜を食料としました。

◇**7～8節** では、**旧約の最後の神の預言者**として、「**わたしよりも力のある方が、わたしのあとから来られる。わたしは、かがんでその**

方の靴の紐をとく値打もない者である」、
「わたしは水で洗礼を授けたが、その方は
聖霊で洗礼をお授けになる」と、「先駆者」の
自分の役目と、「罪からの救い主・神の子
イエス様」の役目である「罪の赦しのための
聖霊のバプテスマ」を授けて下さると、神の民
が長く待ち望んで来た「メシヤ・救い主」で
あることも、強く訴えています。

⇒**〇〇師**は、**エゼキエル33:16~20、22~28**
を引用し、**神の主導のよる心の変革**を求め、
聖霊のバプテスマを授けて下さる**神の恵み**
を示しておられます。

⇒**エズキエル33:16~20、22~28**；「16 彼
の犯したすべての罪は彼に対して覚えられ
ない。彼は公道と正義とを行ったのであるから、
必ず生きる。17 あなたの民の人々は『主
の道は公平でない』と言う。しかし彼らの道
こそ公平でないのである。18 義人がその義
を離れて、罪を犯すならば、彼はこれがため
に死ぬ。19 悪人がその悪を離れて、公道と
正義とを行ふならば、彼はこれによって 生き
る。20 それであるのに、あなたがたは『主の

道は公平でない』と言う。イスラエルの家よ、わたしは各自のおこないにしたがって、あなたがたをさばく。」、「22 その者が来た前の夜、主の手がわたしに臨んだ。次の朝、その人がわたしのもとに来たころ、主はわたしの口を開かれた。わたしの口が開けたので、もはやわたしは沈黙しなかった。23 主の言葉がわたしに臨んだ、24 「人の子よ、イスラエルの地の、かの荒れ跡の住民らは、語り続けて言う、『アブラハムはただひとりで、なおこの地を所有した。しかしわたしたちの数は多い。この地はわれわれの所有として与えられている』と。25 それゆえ、あなたは彼らに言え、主なる神はこう言われる、あなたがたは肉を血のついたままで食べ、おのが偶像を仰ぎ、血を流していて、なおこの地を所有することができるか。26 あなたがたはつるぎをたのみ、憎むべき事をおこない、おのおの隣り人の妻を汚して、なおこの地を所有することができるか。27 あなたは彼らに言いなさい。主なる神はこう言われる、わたしは生きている。かの荒れ跡にいる者は必ず

つるぎに倒れる。わたしは野の面にいる者を、
獣に与えて食わせ、要害とほら穴とにいる者
は疫病で死ぬ。28 わたしはこの国を全く
荒す。彼の誇る力はうせ、イスラエルの山々
は荒れて通る者もなくなる。」

⇒私たちの今日の役目は、「**神の子イエス様**」を
通して、「**罪の赦しのための聖霊のバプテスマ(洗礼)**」
に与った者として、「**神の子イエス様の再臨**」
の備え、「**神の国の先駆者・預言者**」
として、「**神の国の福音**」を告げ知らせる役目
を果たすことです。

⇒「**先駆者・洗礼者ヨハネ**」は、マラキ4:5~6
のエリヤの派遣であると、神の子イエス様は、
マタイ11:10、14塚本訳で、「『(神は言われ
る、)『見よ、わたしは使いをやって、あなた
の先駆けをさせ、』、あなたの『前に道を準備
させる』』、と(聖書(マラキ)に)書いてあるの
は、この人のことである。』、「(今わたしが言
ったことを)信ずる気があなた達にあるなら
(わかることだが、)ヨハネこそ、(救世主の
先駆けとして)来るべき(預言者)エリヤで
ある。」と、語っておられます。

結論；

◇**神の子イエス様**は、子供たちを祝福し、「**神の国の福音を受け入れる者でなければ、決してそこ(神の国)に入ることはできない**」(マルコ 10:16)と、語っておられました。

◇**神の子イエス様**は、「**神の国の福音**」の基本的使信である「**神の子イエス様の来臨**」を語っておられますが、これを「**神の子イエス様**」を信じる者の希望として示しておられる。

◇マルコ1:1~8においては、**罪からの救い主イエス・キリスト様の先駆者、バプテスマのヨハネの働きを神の国の福音の告知とともに、マルコは語っています。**

⇒先週は、「**言伝えパラドシス**」に固執する律法学者たちの「**神の国の福音宣教**」の妨げが扱われ、その前は、**神の子イエス様の来臨の希望**を見ました

⇒今日の「**先駆け**」が、**神の救いの福音**を人々が受け入れるように**道筋**を示すものです。

⇒「**先駆者・洗礼者ヨハネ**」の**道筋**は、「**罪を赦されるための悔改めの洗礼**」でした。

- ⇒「**神の子イエス様**」は、「**罪の赦しのための聖霊のバプテスマ(洗礼)**」を「**神の子イエス様**」を「**罪からの救い主**」と信じる者に授けて下さるのです。
- ⇒私たちは、既にその恵みに与っている者であることを感謝し、讚美を**神の子イエス様**にささげたいと願います。
- ⇒**ヨハネ黙示録22:12~16**で預言されている通り、私たちは、「**神の子イエス様の花嫁**」として、「**天の神の御国**」へ携え上げられます。
- ⇒**先駆者ヨハネ**のように、駱駝の毛織物、皮の帯、蝗と野蜜は不要ですが、「**神の預言者の徴**」を身に着けていることは大事で、今日の着用すべく、また食すべきは、「**神の子イエス様のいのちの言**」であり、「**神の福音にふさわしい生活**」です。
- ⇒**M.ルター**は、**ラテン語版のキリスト者の自由**の中で、「**先駆者ヨハネ**」について語った主は、「**悔い改めよ**」と説き、「**天国は近づいた**」と語って、**信仰のことばを加えていたもうのである**、と語った(マタイ3:2~3、著書379頁)。
- ⇒**世の光、地の塩としての生活を大事にしたい。**